

ひとり情シスのIです。

手順は前後しますが、第3回の時にソフト調査の説明をしましたが、調査をするときにIが使用したひな形を公開して、その説明をしたいと思います。

ひな形を次のページにつけました。実際はこれを見ながら Excel で作ってください。

ひな形を横で見ながら、記入することをひとつずつ説明します。

種類のところは、大きく分けて3つあります。

- ・有償（買い切り）

永久ライセンスのソフトウェアを記入します。時々永久ライセンスと期限付きサポートが別になっているものがありますが、その場合は、ライセンスのみここに書いてください。

- ・有償（サブスクリプション）

期限付きソフトウェアを記入します。期限付きのサポートもここに入れます。

- ・無償

ライセンスとは関係ないですが、JwCAD、NoEditor 等、無償でも使用できるソフトがあるので、その調査です。

後は見たとおりに、ソフト名、エディション（Standard とか Pro）、使用目的、本数、期間（サブスクリプションのみ）、購入ライセンス名、社員 PC 名を書いていきます。

本数とライセンスが別なのは、1本で複数ライセンス使用可能な形態もあるからです。

各人の名前の下には、ソフトの使用頻度を合わせて記録します。インストールはしているが使用していない場合は、Windows10 移行の際には必要ないと判断できます。めったに使用しない場合も同様です。調査が終わった PC の上には「調査済み」と記録していき、これをすべての PC について行います。

すべての調査が終了した後は、購入が必要なソフトを洗い出し、第3回で作成した表をコピーペーストで作成します。

そんなわけで、今日は疲れたので、続きはまた明日。(I)

